

社協だより

平成29年10月1日

第174号

編集

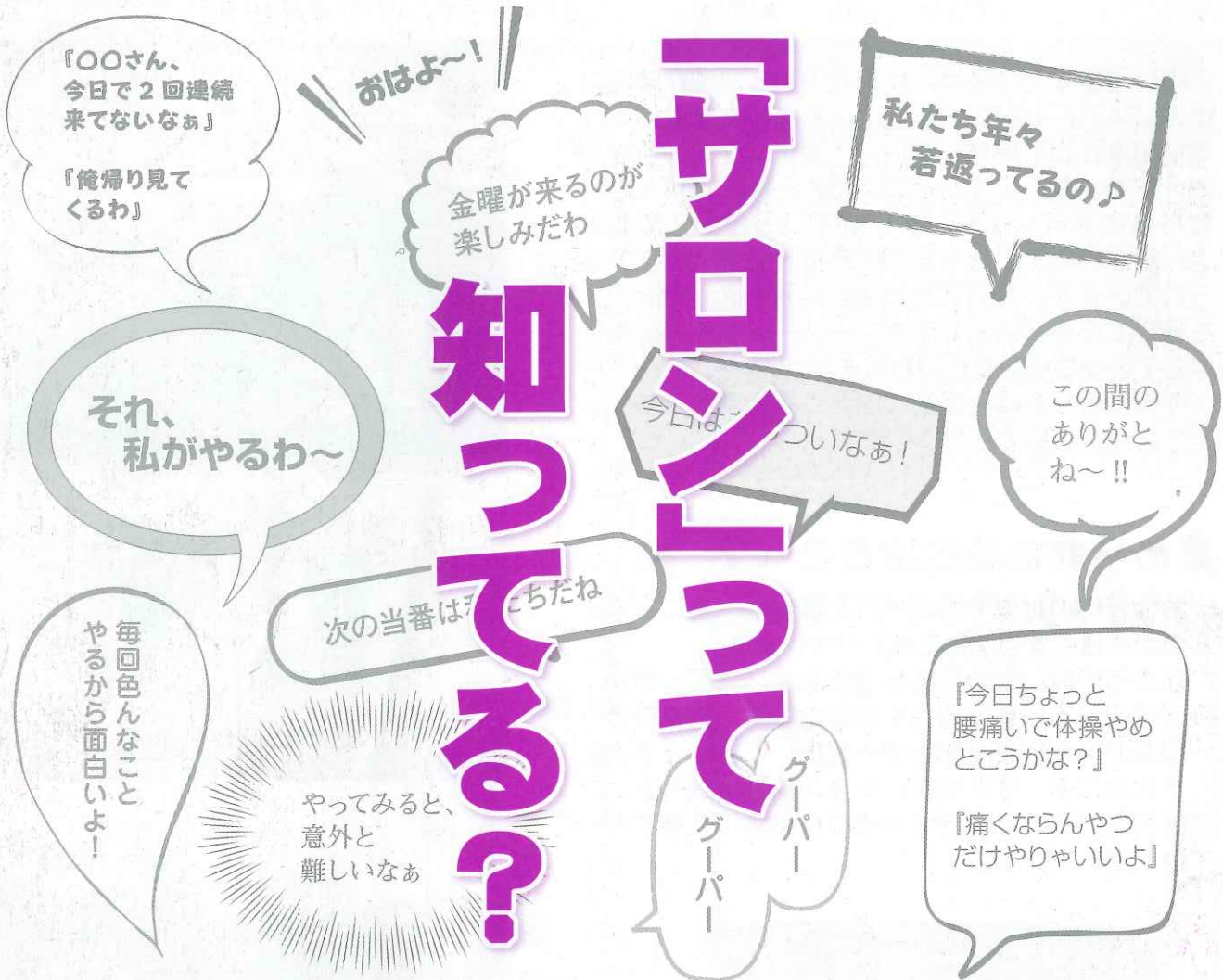
社会福祉法人

江南市社会福祉協議会

江南市古知野町宮裏121番地

(老人福祉センター内)

TEL・FAX(0587)55-5262



「サロン」と聞いて何を思い浮かべますか? ネイルサロンや日焼けサロンなど、世の中に「サロン」と呼ばれるものはたくさんありますが、今回ご紹介するのは、『ふれあい・いきいきサロン』です。

『ふれあい・いきいきサロン』とは気軽に集まり、自由に交流して仲間づくりが出来る地域の居場所のことです。ひとり暮らしや会話をする相手もなく閉じこもりがちの方などが、気軽に出かけて仲間づくりや一緒に活動することで、地域でいきいきと元気に暮らせることを目的としています。

具体的な内容は4・5ページにて紹介していますので、ぜひご覧ください。

おもな内容

- 赤い羽根共同募金について 2ページ
- リレーインタビュー ボランティア×ボランティア 3ページ
- ふれあい・いきいきサロン活動中! 4・5ページ
- 社協掲示板 6・7ページ
- 民生委員・児童委員の活動に迫る、福祉クイズ、寄付お礼 8ページ



赤い羽根共同募金

10月1日からスタート

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947年（昭和22年）に、市民の方が主体の取り組みとして始まりました。今年で71回目を迎えます。募金していただいたお金は「じぶんの町を良くするしくみ。」として、子ども、高齢者、障がいのある方を支援する福祉活動に役立てられています。共同募金の運動期間中は、自治会を通じての募金活動や市内スーパー・学校・企業などで街頭募金活動が行われます。

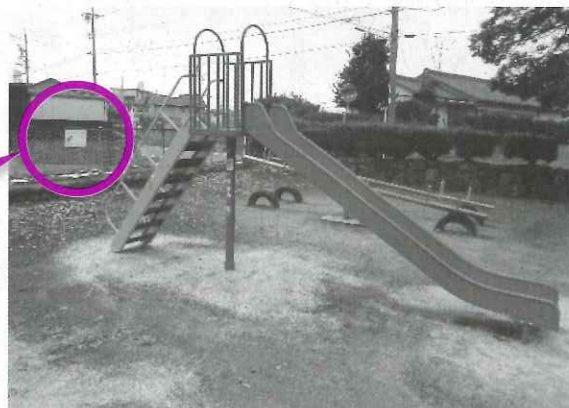
赤い羽根共同募金運動に出会う機会がありましたら、ぜひご協力をお願いします。

集められた募金はどこへ？

お住まいの地域で集められた募金は、主にじぶんの町を良くする活動に使われています。

江南市では、社会福祉協議会を通じて区・町内会が管理する児童遊園地を対象に設置・補修費の一部を赤い羽根共同募金から補助しております。

その他にも、敬老会祝い事業、福祉実践教室、高齢者ふれあい食事会など様々な事業に支援させていただきます。



被災者支援活動を行う際の「災害等準備金」にも活用されています。

共同募金の一部は、大規模災害の発生に備えて、「災害等準備金」の積み立てを行っています。

災害発生時、主に被災地におけるボランティアの拠点である「災害ボランティアセンター」の運営や活動に活用されています。



災害ボランティア活動の様子



Vol.12

江南青年学級連絡会 × 江南レクリエーションキャンプカウンセラー協会 (KRCCA)

(阿部さん、伊藤さん、片桐さん)

(秋山さん、田中さん)

ボランティア団体同士が聞き手、語り手となりインタビューをして本音を語ってもらい、ボランティアを身近に感じていただくための企画です。さて、今回はどんなお話が聞けるのでしょうか。

今回の語り手…江南レクリエーションキャンプカウンセラー協会(KRCCA) クラッカ

小学4～6年生を対象とした「子どもわんぱくキャンプ」の企画運営や、子ども福祉塾の講師、ふくし江南ふれあいまつりのブース出展を主に行っています。依頼を受けて、子ども会でのイベント開催や、交通児童遊園でのキャンプファイヤー指導など、地域に密着した活動を行っています。

例会日時 毎月第1・3水曜日 20時～21時30分 例会場所 老人福祉センター

Q キャンプ中、工夫していることはありますか？

秋山さん 子どもわんぱくキャンプでは、1泊2日の間に、テント張りやキャンプファイヤーなど、非日常を楽しめるように心がけています。

その中で、子ども達に考えてもらうプログラムがあるのですが、「こういうものをやるよ」とお題と使える素材を提示し、「あとは好きに決めていいよ」と伝え、ルールや方法を全部考えてもらいます。

田中さん 子ども達に楽しいと思ってもらうために、まず自分たちが楽しもうという意識を共有するようにしていますね。

Q キャンプを通して子どもに何を伝えたいですか？

田中さん 子ども達には日常生活ではできない体験をしてもらいたいですね。例えばキャンプファイヤーは、楽しいイベントというだけではなく、儀式としての意味もあり、火の怖さ、大切さを伝えていきます。

また、子どもたちの反応が大きいものに、星空があります。日没の頃に、「上を見てごらん」と促すと、プラネタリウムよりも綺麗なので歓声が上がりますね。それだけ普段から自然と触れ合う機会が少ないんだな、と感じます。そのため、今後もそこは大事にしたいですね。



～活動から派生して～

秋山さん 職場の先輩から誘われたのがきっかけでKRCCAに参加しました。それまでキャンプもボランティアの経験もありませんでしたが、面白いから今でも続いています。

キャンプでは総司会を担当するので、人前で話す機会が多いのですが、子どもは結構厳しくて、始めは「聞こえない」とよく言われました。それから声の出し方や聞く側の反応に気を付けて話すようにしたら、その影響が、職場で電話の応対の際に、聞き取りやすいと言われたことがありますね。KRCCAで得たものが日常生活の意外なところに繋がっていることに気がきました。

その年のキャンプの成功は、翌年のリピーターの多さでわかる

Q 活動のどんな所にやりがいがありますか？

秋山さん 自分が提案した企画で子ども達が楽しんでいる様子を見ると嬉しくなります。また、その年のキャンプが成功だったかは、翌年にわかっているんです。リピーターが多ければ、次に参加したいと思ってくれたということなので、前年は成功だったんだなと思い、やりがいを感じますね。

阿部さん 参加者の期待に、できるだけ応えたいと思いますよね。私たち江南青年学級連絡会は障がいを持った方の余暇活動(外出など)を企画する活動を行っているので、ここは共通する部分です。お互い、参加者がいてこそその活動なので、そういう部分は大事ですね。

KRCCAの魅力

～参加を考えている人へひとこと～

秋山さん KRCCAには意見を受け入れてくれる雰囲気があります。自分が言った意見について、「それいいね、でもこうした方がもっといいね」と広げてくれるんです。ただ、「言い出しっぺが中心に準備しようね。」となるんですが(笑)。

イベント企画に興味があるという方にもおすすめです。提案も通りやすいし、反応もすぐに返ってきますから。ボランティアって、責任がないわけではないですが、仕事に比べて、ある程度自由が利きますね。

まずはキャンプから参加してみてください。



～江南青年学級連絡会から一言～

私達も参加者に、「次何するの?」と聞かれたら、「大変だけど頑張るか」と次へのやる気になります。相手の反応を大切にしている部分は共通していますね。

活動初期はお互いの団体が交流していたことを知りました。また協力しながら一緒に活動したいですね。

～おわり～

ふれあい・いきいきサロン活動中!

地域の交流の場である『ふれあい・いきいきサロン』は、市内に22か所あります。(9月1日現在)

今回はその中で一番新しくスタートした安良・曾本地区のサロンの活動内容を紹介します。

サロンの活動内容は多種多様で、各地区の工夫でそれぞれに特徴があり、ご紹介するのはその一例になります。今号ではその他に4つのサロンを5ページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

毎週
金曜日

ちよきん そもと貯筋の会

まずは座禅の時間からスタート!



静



お次は講師を招いてボールを使ったエクササイズ!



ボールが言うこときかない〜!

動

手も足も動かしてくださいね〜!

地区限定(※)

毎週
金曜日

安良健康サロン

近くで行われるグラウンドゴルフ後の参加者も多いため、まずはコーヒーのブレイクタイム!

おはよ〜!



コーヒーはホットにする?アイスにする?



お次は講師を招いてヨガを取り入れた健康体操!



指を回してみてください〜!

結構
難しいね〜



地区限定(※)



副代表の力元さん

代表の伊藤さん

事務局の前田さん

和気あいあいと楽しみ、参加者が三々五々気が向いた時に参加できる雰囲気づくりを心掛けています!



代表の白鳥さん

サロンが心身の健康と心の通える絆づくりのきっかけになってほしいですね。またお互いに助け合って、楽しく参加できる場にしたと思います!

※ 参加対象者については、市内全域在住者対象にしているサロンと地区在住者限定となっているサロンがあります。